

IV. 臨床研修の目標・方略・評価

7. 社会における医療の実践

<行動目標>

医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。

- ① 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。
- ② 医療費の患者負担に配慮しつつ、健康保険、公費負担医療を適切に活用する。
- ③ 地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案する。
- ④ 予防医療・保健・健康増進に努める。
- ⑤ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。
- ⑥ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要に備える。

<方略>

- ・研修医導入教育にて「医療法規」、「臨床研修制度」、「地域包括ケアシステム」等について学ぶ。
- ・モーニングセミナーにて、「保険診療」、「虐待」、「病名・DPC・保険点数」等について学ぶ。
- ・東海北陸厚生局主催の保険医集団指導にて「医療保険」、「公費負担医療」等について学ぶ。
- ・院内防災訓練、防火訓練にて、非日常の医療需要に対応できるよう訓練をする。
- ・感染症講演会や、感染症科からの感染症情報にて非日常医療需要に対応できるように訓練する。